

みんなで賃上げ。ステージを変えよう！

2025 春季生活闘争ニュース

2025.3.14 ー第7号ー 連合北海道 春季生活闘争本部

2025 春季生活闘争 第1回回答集計結果について

連合本部は、2025 春季生活闘争につき、3月14日（金）午前10時時点で取りまとめた回答集計について、次の通り発表した。

- 平均賃金方式で回答を引き出した760組合の加重平均(規模計)は17,828円・5.46%と、昨年同時期を上回った(昨年同時期比1,359円増・0.18ポイント増)。300人未満の中小組(351組合)は、14,320円・5.09%で、昨年を上回るとともに(昨年同時期比2,408円増・0.67ポイント増)、昨年比の上げ幅では規模計をも上回った。
中小組合の賃上げ率が5%以上となるのは、1992闘争(5.10%)以来33年ぶりである(1992闘争のデータは最終回答集計時点)。
賃上げ分が明確にわかる649組合の賃上げ分は12,571円・3.84%(同1,064円増・0.14ポイント増)で、賃上げ分が明確にわかる組合の集計を開始した2015闘争以降で最も高くなった(過去データは最終回答集計時点)。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額(加重平均)は、時給75.39円(同4.29円増)と昨年同時期を上回った。時給の引上げ率(概算)は6.50%(同0.03ポイント増)と、一般組合員(平均賃金方式)をも上回っている。
- 国際的に見劣りする賃金水準に加え、物価高、人材確保などを背景に、「人への投資」の重要性について、労使で認識を共有したうえで、足元の状況も踏まえ、月例賃金にこだわった組合の要求と粘り強い交渉の結果であると評価する。また、交渉に真摯に応じ社会の期待に沿った回答を決断した経営側にも敬意を表する。

連合北海道は先行組合回答ゾーンの最終日となる本日、回答集計を行った(3月14日12時時点)

- 妥結報告のあった組合は、17組合・11,614人(昨年同時期16組合・15,081人)となり、昨年同時期に比べ、1組合増加したものの集計人数は減少した。
- 報告のあった組合が少数であることや、集計組合が昨年と同一ではないため単純には比較できないものの、月例賃金の加重平均では17,732円の引き上げ、率で5.90%となり、昨年同時期と比べ3,243円・0.60%増となった。引き上げ額・率は300人未満、300人以上共に昨年以上を上回り、特に300未満の金額は大幅に上回った。(7,116円・0.16%増)

翌週からは、中堅・中小、そして地場組合の交渉が本格化する。連合北海道は、構成組織及び地域協議会・地区連合と緊密に連携を取り、処遇改善に全力で取り組んでいく。

【組合規模別賃上げ状況 2025年3月14日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均妥結額(定昇・ベア込み)	昨年実績額(定昇・ベア込)	昨年比
300人未満	8組合	935人	14,361円(4.22%)	7,245円(4.06%)	7,116円(0.16%)
300人以上	9組合	10,679人	17,957円(5.92%)	14,713円(5.32%)	3,244円(0.60%)
計	17組合	11,614人	17,732円(5.90%)	14,489円(5.30%)	3,243円(0.60%)